



学校だより

令和元年9月27日

横浜市立高田中学校

10月号(第31-06号) TEL: 591-4183 校長 横田由美子

【よい思い出を創りましょう ～合唱の部・文化の部～】

副校長 河野 正美

9月も下旬を迎え、秋の深まりと共にひたひたと高田祭合唱の部・文化の部が近づいてまいりました。この時期は合唱練習にも少し飽きが生まれ集中力を欠き、クラスのまとまりに悩む担任が出てくる時です。そんな9月26日(木)富澤裕先生が合唱指導に来てくださいました。富澤先生はいろいろな学校で歌われている「COSMOS」「Tomorrow」など多くの合唱曲の編曲を手がけるプロの作曲、編曲家です。1年中日本全国の小中学校に招かれ、とても多忙な日々を送られている富澤先生が、昨年度に引き続き今年度も是非にとお願いし実現した合唱指導でした。今年度は声の出にくい朝の1時間目に3年生、その後3時間目の1年生まで合計



150分 立て続けにご指導いただきました。生徒の状況に合わせて手を替え品を替え臨機応変に巧みに声をかけていただくうちにあれよあれよという間に生徒の様子は変容していき、気づくと多くの生徒が身を乗り出し、歌うことの楽しさを体で表現していました。合唱ができない生徒はいない、自分でどれだけ意識するかが大切であること、また指揮者の手を見て歌う

のではない、その指揮に自分の時計を合わせて主体的に歌うことが大切と、富澤先生は生徒の主体性に終始訴えかけてかけてくださいました。その数時間後、6時間目の合唱練習はその継続した気持ちがそのまま歌声に乗り、多くの教室や廊下からやる気に満ちた生徒の歌声が響いていました。あと1ヶ月弱の練習で子どもたちがますます多くのことを学び自分だけでなく相手の気持ちも考え乗り越えていけるよう、またそれぞれの思いが1つになり10月22日(火)当日皆様の元に感動のうねりとなって届くことを切に願っています。また24日の文化の部

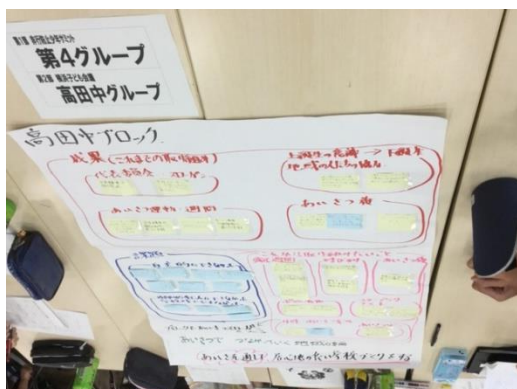
では5・6組の発表、スピーチや高田の時間の発表、文化部の発表、有志発表等 これまで練習や準備をしてきた成果が発表されます。一人ひとりが懸命に準備してきたこの発表1つひとつを生徒と共に丁寧にかみしめたいと思っています。

さて9月9日(月)早朝に千葉市付近に上陸した台風15号は各地に大きな被害をもたらしました。特に千葉県は暴風雨や飛来物による深刻な被害が出ており心が痛みます。本校では創立以来本校のシンボルの1つとして親しまれてきた正門入ってすぐの桜の木が根こそぎなぎ倒されてしまいました。人知の及ばない自然の驚異に改めて「生きる」ことについて考える日々です。



【横浜子ども会議】

7月17日(水)、高田小学校にて「横浜子ども会議～高田中学校区 ブロック会議～」、8月29日(木)に港北警察署にて、「横浜子ども会議」が行われました。この「横浜子ども会議」とは平成25年から始まった横浜市独自の取り組みで、



子どもたちが自分とまわりの人や社会との関係をみつめ、主体的な具体の取組を行う姿をめざすものです。今年度のテーマは「だれにとっても居心地の良い学校づくり」で、会議では昨年度の取組を振り返りながら、「どのようにだれにとっても居心地のよい学校がつけられるだろうか?」という視点で話し合いがすすめられ、高田中ブロックとして「あいさつ運動」を中心に活動してきたが、「あいさつが自主的にできていなかった」

「学校外などであいさつができていなかった」などの課題が出てきました。そこで、「あいさつ運動」を活発化させるためにブロックであいさつスローガン「あいさつで つながっていく 地域の輪」を作り、あいさつを通して、居心地の良い学校づくりをすることを他校の代表者たちに発表していました。

【学校保健委員会】

9月20日（金）高田中学校、高田小学校、高田東小学校合同で学校保健委員会が開催されました。今回のテーマは、「心の健康」～友人との会話について～でした。それぞれの学校での取組を学んだあと、高田中学校の発表をもとに、小中学生、そしてPTA混成チームでワークショップを実施しました。「相手を見て話す、聞こえる声ではっきりと話す、自分の意見を言うなどのポイントを押さえることで、よりよい関係が築くことができる」「クラスの人と話をするとき意識したい」など意見交換がされました。班ごとに話し合いも盛り上がり、併設型小中一貫校ならではの貴重な取組となりました。



【ハマ弁】

9月5日（木）にPTA運営実行委員会の後、委員のみなさまと『ハマ弁試食会』を実施しました。美味しい、利用したいとの声と同時にハマ弁の魅力を広めるにはどうしたら良いか多くの意見も頂戴しました。9月11日（水）には『たか中ハマ弁デー』を実施し、生徒・教職員希望者260名がハマ弁を楽しみました。この日はカレーにチキンナゲットにスパゲッティと子どもが好むメニューでした。美味しかった。また頼みたい。との声があがりましたが、カレーのルーがさらさらだったため「これはカレーではなくカレースープだ」との子どもたちならではの厳しい指摘もいただきました。栄養バランスも良く、当日注文対応など改善が図られているハマ弁、これからも健康で楽しい食事の時間が持てるよう工夫していきます。



【楽器の寄付ありがとうございました】

吹奏楽部では、活動に必要な楽器が長年の使用で老朽化が進んでおり、楽器を直しながら活動をしている状況でした。この度、高田町連合町内会長 宮田寿雄様による町内会・自治会への呼びかけ、地区の回覧板や掲示板での掲示のお陰で地域の皆様からフルート、アコーディオン、トランペット、クラリネットを寄付いただくことができました。吹奏楽部一同一層張り切って練習に臨んでいます。眠っている楽器がありましたら引き続きご協力をお願いいたします。

【全国学力・学習状況調査 結果について】

4月18日に、3年生を対象として実施された全国学力・学習状況調査(国語、数学、英語)の結果について報告いたします。



図 1



図 2

図 1、図 2 とも内側の破線上の円は全国平均値を表しています。図 2 (生徒質問紙) のグラフを見ると、学習に対する興味関心と、教科の学力との関係性が密接に見られます。全国平均と比較して関心が平均値に近い英語においては学力も全国平均に近い値を示しています。同様に、関心が全国平均と比較して低い値を示している国語・数学においては、学力も全国平均値と比較して低い値になってしまっています。この結果から、学力の向上を図る上において、関心意欲を高めていくことを再認識しました。しかし、今回の学力学習状況調査は4月18日という進級してすぐの時期に実施されたため、3年生になってからの自覚や行動が反映されていない面もあり、その後の授業の様子や取り組み方を見ると、関心においても学力においても変化が見られているように感じられます。

自己有用感・規範意識や生活習慣など生活面での結果では、自己有用感に特に高い数値を示しています。「自分にはよいところがあるとおもいますか」と「将来の夢や目標を持っていますか」という2つの質問については、全国平均を5ポイント以上上回っており、自分に対する自信や将来に向けての期待感をあらわしています。逆に「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかった」経験の「あてはまる」が全国平均から10ポイント以上低い結果がでています。学校生活の基盤である学級を軸として、日常の活動から行事など様々な活動の中での達成感を持たせていくことを課題として取り組んでいく必要があると感じられます。最上級生という自覚が芽生えている中で、すでに終わっている様々な行事では、満足感や達成感を口にしている生徒も多く、現在の状況は当時とは大きく変化しているようにも感じ、それにより規範意識や生活習慣などの向上も期待できます。

学習活動だけでなく、学校行事や日常活動などを通して、一人ひとりを大切にしながら、自他の良さを認め合える環境作りを意識して、それぞれが持ち味を生かして活躍できる学校となるようにこれからも生徒への指導・支援をしていきたいと思っております。